

疾患別診療計画書

胞状奇胎で流産手術を受ける方へ

	入院 手術前・手術中	手術後	術後1日	退院日
治療薬剤 (点滴/内服)	<ul style="list-style-type: none"> 午前中に、処置室で子宮口を広げる処置をします 手術衣に着替えて下さい 点滴を挿入します 処置の時間はその都度説明します  <ul style="list-style-type: none"> 移動用のベッドに乗って手術に向かいます 貴金属類や眼鏡・コンタクトレンズは手術に行く前に外してください 血圧や呼吸を観察する機械を付けます 点滴から麻酔薬を入れ、手術を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、腔内にガーゼが入ります 麻酔が覚めてから、病室に戻ります 点滴は麻酔が完全に覚めてから抜きます 出血が多い時、おなかの痛みが強い時は看護師にお知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、診察があります (腔内のガーゼを抜きます) 	退院です 気を付けてお帰り下さい
食事	<ul style="list-style-type: none"> 手術当日朝の7時から飲んだり食べたりできません 歯磨き、うがいは出来ます 	<ul style="list-style-type: none"> 病室へ戻ってから約2時間後の麻酔が完全に覚めてから食事が可能となります 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食は普通食が出来ます 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません 	<ul style="list-style-type: none"> 手術により除去された子宮内容物を病理検査に提出し、結果は外来でお話します (結果が出るまでに日数がかかるため) 		
安静度	<ul style="list-style-type: none"> 手術まではトイレなどの歩行は可能です 病室でお過ごしください 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後2時間程度経ち、麻酔が覚めたのを確認してから歩行を開始します 手術後、ふらつくことがありますので、初回歩行は必ず看護師が付き添います 麻酔が完全に覚めたら病室内は自由に動けます 	<ul style="list-style-type: none"> 院内は自由に歩行できます 	
清潔排泄	<ul style="list-style-type: none"> マニキュア・化粧をおとし、爪を短く切っているのを確認します 	<ul style="list-style-type: none"> 初回の排尿は、看護師が必ず確認します (トイレ歩行の際は必ずお知らせください) 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後、シャワー浴は可能です 入浴は次回外来まで控えてください 	
説明	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が入院生活および、退院後の生活について説明します ナブキン1枚、承諾書・内服薬をお預かりします  <ul style="list-style-type: none"> 経過については必要時主治医より説明があります ご心配な点、不安なことがありましたら、御相談下さい 	【退院後の生活について】 <ol style="list-style-type: none"> 腔出血は個人差がありますが、数日～10日位は続きます2週間以上続いたり、血の塊がでた時は婦人科外来にお電話にてご相談ください 次の月経は個人差がありますが、40日前後で再開します40日以上ない場合は、婦人科外来を受診してください 退院後1週間くらいは無理のない家事程度とし、疲れたら休み、自分の体調に合わせて下さい仕事への復帰は主治医とご相談下さい 性生活は外来にて診察後に許可が出ます次回の妊娠は月経を3回以上みて、子宮が元の状態に戻ったら可能ですそれまでは必ず避妊をしてください 次の受診日までに腹痛や腰痛・発熱などが続いたり、気になる症状がありましたら平日に婦人科外来にお電話にてご相談下さい 	看護師からの説明終了後病室でお待ち下さい 会計の用紙を事務員がお渡します	